

中学校美術 専門問題例

※問題中の一部の図表につきましては、著作権の問題により公開できません。

例 1 日本画について、(1)・(2)の問いに答えなさい。

- (1) 次の文は、日本画の用具や制作方法について説明したものである。(a)～(h)にあてはまる語句をア～スから選び、記号で答えなさい。(同じ記号には、同じ語句が入るものとする。)

日本画に使われる岩絵の具は、鉱石を粉末にしたものである。粒子が細かいほど色は(a)なる。白い絵の具は(b)を砕いた胡粉を用いる。日本画は和紙に描くが、和紙に絵の具を乗せる前に、まず(c)を引いてにじみを止める。(c)は、膠と(d)を混ぜて溶かしたものである。日本画の制作では、下描きを和紙に転写した線の上に濃いめの墨で線描きする。これを(e)といい、彩色を重ねていくベースになる。岩絵の具に加える膠分の濃さは、下地、描き込み、仕上げのそれぞれの段階で変える必要がある。下地は(f)を使い、仕上げは(g)を用いる。理由は、岩絵の具は膠分が(h)ほど発色がよいので、上層に乗せる絵の具には(g)を用いるのが望ましいからである。

ア 薄い膠	イ 濃い膠	ウ 明るく	エ 暗く
オ 貝殻	カ 大理石	キ ドーサ	ク 亜麻仁油
ケ みょうばん	コ 骨描き	サ 素描き	シ 多い
ス 少ない			

- (2) 日本画の制作に使われる次のA～Cの用具の名称を答えなさい。



A



B



C

(R3年度)

例 2 次のA～Dの作品について、(1)～(5)の問いに答えなさい。



A



B



C



D

- (1) A～Dの作者名を答えなさい。
- (2) A・B・Cの作品に代表される流派を何というか、答えなさい。
- (3) Cは、左右一対の屏風である。このような屏風の数え方を答えなさい。
- (4) Dは、(2)の流派に影響を受けている。AとDの共通点を2つ答えなさい。
- (5) A～Dを制作の古い順に並べ、記号で答えなさい。

(R3年度)

例 3 次の (1)・(2)の問いに答えなさい。

(1) 次の文は、浮世絵について説明したものである。(a)～(e)にあてはまる最も適切な語句を①～⑩から選び、番号で答えなさい。(同じ記号には、同じ語句が入るものとする。)また、下線部(ア)の読みがなを書き、どのような技法か説明しなさい。

浮世絵は、江戸時代に江戸の地を中心に発達した庶民の絵である。浮世絵には直接筆で描いた(a)もあるが、安くて良質な絵を量産するために、主に木版画の技法が用いられた。

浮世絵版画は、木版で印刷した本の挿絵が墨一色摺りの(b)として独立したことに始まる。その後、(b)に丹などを用いて筆で彩色した丹絵、紅や草色など2～3色を重ねて摺る(c)、さらに技術の向上により10色以上の版を重ねた多色摺りの錦絵が制作されるようになった。

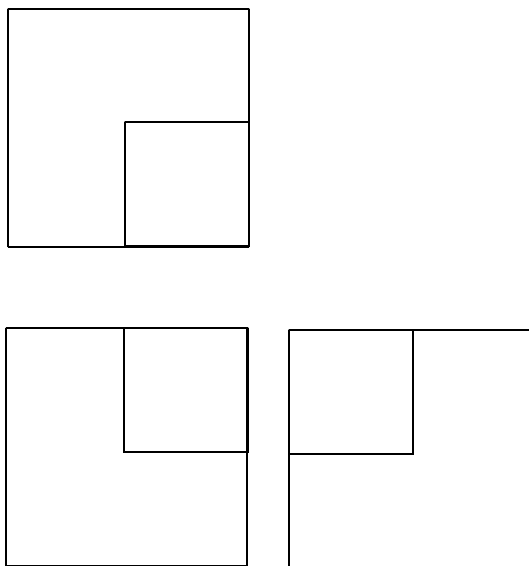
浮世絵版画は(d)が企画を立て、絵を描く絵師、色数に応じて版を彫る彫師、何種類もの版をずれないように摺り重ねる摺師の(e)によって作られた。東洲斎写楽の「三世大谷鬼次の奴江戸兵衛」には(ア)雲母摺という技法が使用されている。

① 一枚画	② 炭擦絵	③ 主版	④ 共同作業	⑤ 判じ絵
⑥ 墨摺絵	⑦ 肉筆画	⑧ 版元	⑨ 個人作業	⑩ 紅摺絵

(2) 版画には様々な技法があるが、版画のもつ特性を2つ答えなさい。

(R2年度)

例 4 次の図は、正投影図法第三角法により立体を示したものです。この立体の上面が見えるように3点透視図法で描きなさい。なお、消失点(VP)と垂直消失点(VVP)が解答欄に収まらない場合は記入しなくてもよいが、消失点からの線は破線で表すこと。また、左上面を光源とする陰影を立体に付けること。



(R2年度)

例 5 次のラインを使ってNightという文字をサンセリフ体で解答用紙にレタリングしなさい。定規を使ってもかまわないものとし、文字は塗りつぶすものとする。また、矢印で示したラインの名称を答えなさい。

_____	← ()
_____	← ()

(R元年度)

例 6 次の文は、中学校学習指導要領「第2章 各教科」「第6節 美術」「第1 目標」である。(a)～(h)にあてはまる語句を答えなさい。

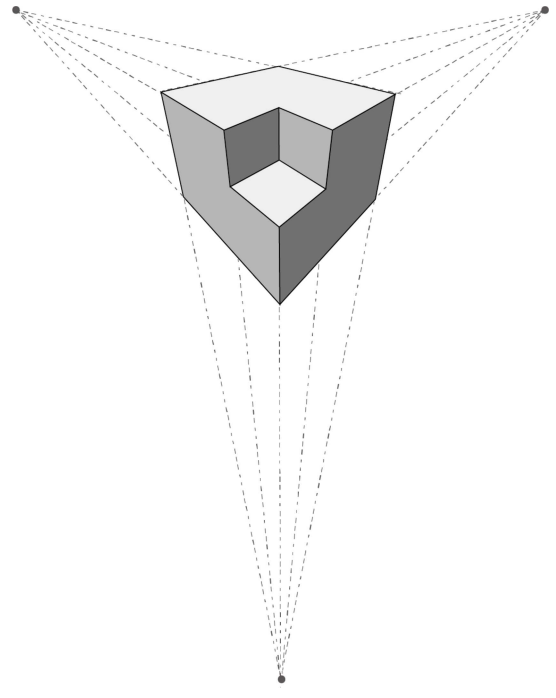
表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、(a)を働かせ、生活や社会の中の美術や美術文化と豊かに関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 対象や事象を捉える(b)について理解するとともに、表現方法を創意工夫し、(c)に表すことができるようにする。
- (2) 造形的なよさや美しさ、表現の(d)と工夫、美術の(e)などについて考え、(f)を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。
- (3) 美術の創造活動の(g)を味わい、美術を愛好する心情を育み、感性を豊かにし、心豊かな生活を創造していく態度を養い、豊かな(h)を培う。

(R元年度)

中学校美術 正答例

問題番号		正 答 例	
例 1	(1)	(a)	ウ
		(b)	オ
		(c)	キ
		(d)	ケ
		(e)	コ
		(f)	イ
		(g)	ア
		(h)	ス
	(2)	A	膠鍋
		B	乳鉢
C		連筆	
例 2	(1)	A	尾形光琳
		B	酒井抱一
		C	俵屋宗達
		D	グスタフ・クリムト
	(2)	琳派	
	(3)	二曲一双	
(4)	金箔を用いている。		
	装飾的な連続模様を描いている。		
(5)	C → A → B → D		
例 3	(1)	(a)	⑦
		(b)	⑥
		(c)	⑩
		(d)	⑧
		(e)	④
		(ア)	読みがな
	(2)	・インクや絵の具の転写・透写などによる間接性	
		・同じ版から複数枚作品を制作できる複数性	

問題番号	正 答 例	
例 4	<p>光源 ↙</p> 	
例 5	<p>Night</p> <p>← (ベースライン)</p> <p>↙ (デセnderライン)</p>	
例 6	(a)	造形的な見方・考え方
	(b)	造形的な視点
	(c)	創造的
	(d)	意図
	(e)	働き
	(f)	主題
	(g)	喜び
	(h)	情操